

刃具研磨で教員を指導

～加工精度向上に向けて岐阜県で講習会を実施～

JAM熟練技能継承事業として初の試みである岐阜県下の工業系高等学校（11校）の教員を対象とした技能講習会を実施した。

今回の講習会のテーマは、バイト・ドリルの研磨で、学校で生徒に普通旋盤等の実習を指導するにあたって効率的・効果的に進め更に加工精度を高めてもらうために実施した。

今回の講習会には行事の関係で1校の教員が参加できなかったが、それ以外の10校から計15名が参加し、高度熟練技能者の北川氏（バイト研磨を担当）、松岡氏（ドリル研磨を担当）の熱心な指導を受けた。

指導は、グラインダーでの研磨の姿勢や刃の当て方などを具体的に示して指導し、研ぎ終わったらそれを使って旋盤やドリルで試すことまでを一連の実習として行った。

講習の中で、自分の研いだバイトで気持ちよく切削できて綺麗な切粉が出た教員から「楽しい」と声が出るなど、改めてものづくりの楽しさに触れる受講者の姿が見られた。

受講後のアンケートの自由記述欄に全員から「また実施して欲しい」「次回も参加したい」の書き込みがされるなど、大変好評で有意義な講習会となった。



グラインダーでバイト研磨の実習をしているようす



バイト研磨について指導する北川熟練技能者(中央)



バイト研磨(左)と研磨後のドリルの確認(右)



ドリルの研磨作業を指導する松岡熟練技能者(右)